

令和2年8月6日

## 鞍手町庁舎等建設設計等業務委託プロポーザルの審査講評

鞍手町庁舎等建設設計候補者等選考委員会  
委員長 井原 徹

鞍手町庁舎等建設事業の実施にあたり、鞍手町庁舎等建設基本計画改訂版（以下「基本計画改訂版」という。）を踏まえ、町が求める機能や諸条件を余すことなく庁舎等建設事業に反映するとともに、鞍手町の将来の動向も見据え、地域に求められる機能を備えた新庁舎等施設となるよう、方針や計画内容を十分に理解したうえで、柔軟かつ円滑に設計等業務を行うことができる高い技術力や豊富な経験を有する事業者を選考するため、公募型プロポーザルが実施されました。

本プロポーザルでは、4者より参加表明があり、参加資格要件の確認や、設計事務所及び担当技術者の実績などを総合的に評価したうえで、当該4者を技術提案書等提出要請者として選考し、技術提案書等の提出を受けました。

鞍手町庁舎等建設設計候補者等選考委員会（以下「選考委員会」という。）では、令和2年8月5日にプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、業務実施方針や課題に対する各者の提案などについて審査を行い、下記のとおり最優秀者及び優秀者を選考しました。

選考においては、4者ともに基本計画改訂版の趣旨をよく理解されており、各者の持てる技術力や創造性を十分に発揮した非常にレベルの高い提案内容でありました。また、新庁舎を中心とした、中央公民館及び新しく建て病院との連携を考慮した動線や、周辺施設全体の敷地条件を十分に踏まえたバランスの取れた甲乙付け難い提案内容でもありました。その中でも特に、最優秀者の提案については、重要なテーマのひとつである Nearly ZEB 庁舎の実現に関連した先駆的な取り組みや環境に配慮した提案を活かしたコスト縮減策に加え、ヒアリングでの取り組み姿勢が他者よりも高く評価されたところです。

選考に至るまでの経過については別紙のとおりですが、本プロポーザルに参加され貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた4者の関係各位に心より感謝いたします。

今後、選考された技術提案に基づき、町や町民など関係者との合意形成を図りながら設計が進められ、福岡県、九州圏域のみならず、全国に誇れる鞍手町新庁舎が整備されることを祈願し、選考委員会としての審査講評とします。

### 記

最優秀者 （A社） 株式会社 佐藤総合計画 九州オフィス

優 秀 者 （C社） 株式会社 山下設計 九州支社

## 【別紙】

### 1) 選考委員会委員

委員長 井原 徹 (近畿大学 産業理工学部 産業理工学部長)  
副委員長 岡田 知子 (西日本工業大学 デザイン学部 デザイン学部長)  
委員 舟谷 文男 (産業医科大学 名誉教授)  
〃 豊 嶋 啓 司 (福岡教育大学 副学長)  
〃 井 上 信 昭 (まちづくり支援NPO タウン・コンパス 理事長)  
〃 豊 田 真一郎 (福岡県直方県土整備事務所 建築指導課 課長)  
〃 小 野 泰 三 (鞍手町役場 建設課 建築係長)

### 2) プロポーザル経過

期日等	内 容
令和2年5月21日 (木)	■第1回選考委員会 ・委員委嘱 ・設計候補者等選考についての諮問 ・スケジュール、実施要項等の確認
令和2年5月25日 (月)	公告 (公募開始)
令和2年6月10日 (水)	参加表明書等審査 (1次審査) ・4者より参加表明
令和2年6月11日 (木)	1次審査結果公表及び通知 ・参加表明4者に技術提案書等提出要請
令和2年7月29日 (水)	■第2回選考委員会 ・参加表明書等審査 (1次審査) 結果の確認 ・技術提案書等配付 ・技術提案書等評価要領の確認
令和2年8月5日 (水)	■第3回選考委員会 ・プレゼンテーション及びヒアリング (2次審査) ・審査集計結果確認 ・選考結果の答申
令和2年8月6日 (木)	2次審査結果公表及び通知

### 3) 受託候補者選考方針

鞍手町庁舎等建設設計等業務の受託候補者を次の審査を経て選考する。なお、各審査段階において審査対象が3者を下回る場合は、原則として、当該審査は実施しないものとする。

- (1) 1次審査 参加表明書等を提出した者の参加資格要件等を確認し、審査及び評価のうえ、概ね5者を選考する。
- (2) 2次審査 技術提案書等を提出した者の技術提案書等の内容をプレゼンテーション及びヒアリングで審査及び評価し、最優秀者1者、優秀者1者を選考する。

#### 4) 参加表明書等審査（1次審査）概要

##### (1) 評価項目と評価点の配点

評価点は、100点満点とし、評価項目及び評価点の配点は、次のとおりとする。

- ① 会社評価 20点
- ② 管理技術者評価 20点
- ③ 各主任技術者評価 60点
  - ア 総合担当 内15点
  - イ 構造担当 内10点
  - ウ 電気設備担当 内10点
  - エ 機械設備担当 内10点
  - オ 造成担当 内15点
- ④ 協力事務所評価 減点評価結果

##### (2) 参加表明書等提出者別評価一覧表

評価項目/判断基準	配点	A社	B社	C社	D社
(1) 会社評価	20	20	18	19	15
ア 同種・類似主要実績					
イ 能力技術者数					
ウ 保有資格係数					
エ ZEBに関する実績					
(2) 管理技術者評価	20	20	18	20	20
ア 経験年数					
イ 同種・類似業務の実績					
ウ 立場実績評価					
エ 受賞歴					
オ 手持ち業務量					
(3) 各主任技術者評価					
(3)-1 総合担当	15	11	10	11	13
ア 経験年数					
イ 同種・類似業務の実績					
ウ 立場実績評価					
エ 手持ち業務量					
(3)-2 構造担当	10	9	9	9	7
ア 経験年数					
イ 同種・類似業務の実績					
ウ 立場実績評価					
エ 手持ち業務量					
(3)-3 電気担当	10	9	7	8	9
ア 経験年数					
イ 同種・類似業務の実績					
ウ 立場実績評価					
エ 手持ち業務量					
(3)-4 機械担当	10	9	9	9	9
ア 経験年数					
イ 同種・類似業務の実績					
ウ 立場実績評価					
エ 手持ち業務量					
(3)-5 造成担当	15	14	10	14	10
ア 経験年数					
イ 福岡県内開発許可の実績					
ウ 立場実績評価					
エ 手持ち業務量					
(4) 協力事務所評価	減点	—	—	—	—
<b>合計</b>		<b>92</b>	<b>81</b>	<b>90</b>	<b>83</b>
<b>順位</b>		<b>1</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>3</b>

## 5) 技術提案書等審査（2次審査）概要

### (1) 評価項目と評価点の配点

評価点は、100点満点とし、評価項目及び評価点の配点は、次のとおりとする。なお、評価項目ごとに算出した評価点は、小数点第一位を四捨五入する。

① 業務の実施方針	10点
② 課題に対する技術提案	50点 (15点×2テーマ+10点×2テーマ)
③ 設計工程計画	5点
④ 参考見積書	5点
⑤ 管理技術者の詳細業務実績	10点
⑥ ヒアリング内容	20点

### (2) 技術提案書等評価一覧表

評価項目	判断基準	配点	A社	B社	C社	D社
(1) 業務の実施方針 【様式D】						
業務実施方針の妥当性、実現性、的確性、獨創性	①業務推進組織と役割の妥当性、実現性 ②実施方針の実現性、的確性 ③合意形成等の工夫の実現性、的確性 ④コンセプトや配慮事項の獨創性	10	8	8	7	7
(2) 課題に対する技術提案 【様式E】						
【テーマ1】 基本計画改訂版の実現について 基本計画改訂版に定める新庁舎の機能を実現するための課題と解決方法について提案をすること。		15	12	11	12	11
テーマの理解度 テーマに対する技術提案の的確性、獨創性、実現性	①テーマを理解しているか（理解度） ②テーマと整合がとれているか（的確性） ③新たな取組やアイデアであるか（獨創性） ④提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
【テーマ2】 敷地条件等を活かす庁舎等建設について 本事業は造成工事を伴う計画となっており中央公民館を始めとする周辺施設、建設中の病院施設、今回計画する外構などの連携を十分に考慮した設計が必要となる。さらに本事業は複合施設となることから利用者への配慮が必要になることなどを踏まえ、妥当性のある計画について提案をすること。		15	12	11	12	11
テーマの理解度 テーマに対する技術提案の的確性、獨創性、実現性	①テーマを理解しているか（理解度） ②テーマと整合がとれているか（的確性） ③新たな取組やアイデアであるか（獨創性） ④提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
【テーマ3】 ZEBの実現について 本業務についてZEB化の実現に向けた提案をすること。特にZEBの計画及び検証については設計者にて実行するものとし、公共性に十分に配慮した品質及び仕様を実現すること。なお、ZEBの基準は Nearly ZEB を目標とする。		10	8	7	8	7
テーマの理解度 テーマに対する技術提案の的確性、獨創性、実現性	①テーマを理解しているか（理解度） ②テーマと整合がとれているか（的確性） ③新たな取組やアイデアであるか（獨創性） ④提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
【テーマ4】 工期短縮及びコスト削減について 実現可能な範囲で工期の短縮を図り、【特記2】特記仕様書の要求以上の内容でかつ建設コスト及び維持管理費を削減できるような設計手法や工夫、目標値などについて提案をすること。		10	8	7	7	7
テーマの理解度 テーマに対する技術提案の的確性、獨創性、実現性	①テーマを理解しているか（理解度） ②テーマと整合がとれているか（的確性） ③新たな取組やアイデアであるか（獨創性） ④提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
(3) 設計工程計画 【様式F】						
設計工程計画の妥当性	①業務項目の設定は適切か ②業務項目の関係性、順序は適切か ③業務項目ごとの期間は適切か	5	4	3	3	3
(4) 参考見積書 【様式G】						
参考見積書の妥当性	①業務項目の人数日は適切か ②取り組み姿勢が伺えるか	5	4	3	3	3
(5) 管理技術者の詳細業務実績 【様式C】						
業務実績の内容及び特徴	①設計上の課題とコンセプトは結び付けられているか ②コンセプトと作品は整合がとれているか ③新たな取組やアイデアがあるか	10	7	7	7	6
(6) ヒアリング内容						
取り組み意欲	①プレゼンテーション内容、ヒアリングの対応で取り組み姿勢、意欲が伺えるか	20	17	15	16	14
合計		80	72	75	69	
順位		1	3	2	4	